

平成27年4月10日

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成27年5月13日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第 6004 号	ジベレリン明治	ジベレリン水溶剤	Meiji Seika ファルマ(株)
第 6005 号	ジベレリン明治液剤	ジベレリン液剤	Meiji Seika ファルマ(株)
第 6006 号	ジベレリン協和液剤	ジベレリン液剤	協和発酵バイオ(株)
第 6007 号	ジベレリン協和粉末	ジベレリン水溶剤	協和発酵バイオ(株)
第 21318 号	S Tジベラ錠	ジベレリン水溶剤	住友化学(株)
第 21319 号	S Tジベラ錠5	ジベレリン水溶剤	住友化学(株)

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

作物名「セルリー」を削除する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

[変更前]

作物名	使用目的	使用濃度	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジベレリンを含む農薬の総使用回数
セルリー	生育促進 肥大促進	ジベレリン 50～100ppm	20～100 L/10a	収穫予定 15～20日前	1回	葉面散布	2回以内 (種子への処理は 1回以内、は種後は 1回以内)

[変更後]

削除

【変更理由】

登録維持に必要な試験成績整備に経費と時間を要するため。

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成27年5月13日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第 12246 号	サンケイマイマイペレット	メタアルデヒド粒剤	琉球産経(株)
第 22259 号	スネック粒剤	メタアルデヒド粒剤	第一農薬(株)

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

1) サンケイマイマイペレット

作物名「ナメクジ類、カタツムリ類、アフリカマイマイが加害する農作物等」の適用場所を、「圃場、温室」から「ほ場周辺雑草地の生息地」に変更する。

2) スネック粒剤

作物名「ナメクジ類、カタツムリ類、アフリカマイマイが加害する農作物等」の適用場所を、「圃場、温室、庭園、森林」から「ほ場周辺雑草地の生息地」に変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

[変更前]

作物名	適用場所	適用病害虫名	使用量	本剤の使用回数	使用方法	メタアルデヒドを含む農薬の総使用回数
ナメクジ類、カタツムリ類、アフリカマイマイが加害する農作物等	圃場 温室※	アフリカマイマイ カタツムリ類 ナメクジ類	1～4 kg/10a (1㎡当り 1～4g)	6回以内	本剤を数粒ずつまとめて、1㎡当り4～5ヶ所の割合で適宜配置する。	6回以内

※スネック粒剤にあつては「圃場、温室、庭園、森林」

[変更後]

作物名	適用場所	適用病害虫名	使用量	本剤の使用回数	使用方法	メタアルデヒドを含む農薬の総使用回数
ナメクジ類、カタツムリ類、アフリカマイマイが加害する農作物等	ほ場周辺 雑草地の 生息地	アフリカマイマイ カタツムリ類 ナメクジ類	1～4 kg/10a (1㎡当り 1～4g)	6回以内	作物にかからないように 土壌表面散布する。	6回以内

【変更理由】

作物名「ナメクジ類、カタツムリ類、アフリカマイマイが加害する農作物等」については、ほ場外での使用とすることとしたため。

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成27年6月10日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第23281号	HCC レールシャープ粒剤	ヘキサジノン粒剤	保土谷化学工業(株)
第23282号	レールシャープ粒剤	ヘキサジノン粒剤	保土谷アグロテック(株)
第23283号	クサハンターDX 粒剤	ヘキサジノン粒剤	レインボー薬品(株)
第23288号	ラーチE 粒剤	ヘキサジノン・DBN 粒剤	保土谷アグロテック(株)
第23289号	草退治E 粒剤	ヘキサジノン・DBN 粒剤	住友化学園芸(株)
第23290号	ワイドウェイV 粒剤	ヘキサジノン・DBN・DCMU 粒剤	保土谷アグロテック(株)
第23291号	ネコソギエースV 粒剤	ヘキサジノン・DBN・DCMU 粒剤	レインボー薬品(株)

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

適用場所を「公園、庭園、堤とう、駐車場、道路、運動場、宅地、墓地、鉄道等」から「駐車場、道路、運動場、宅地等」に変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

- ① 第23281号 HCC レールシャープ° 粒剤、第23282号 レールシャープ° 粒剤及び
第23283号 クサハンターDX 粒剤

〔変更前〕

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量 ^{*1}	本剤の使用回数	使用方法	ヘキサジノンを含む農薬の総使用回数
樹木等	公園 庭園 堤とう	一年生雑草	雑草生育期 (草丈30cm以下)	15～30 kg/10a	2回以内	植栽地を除く樹木等の周辺地に全面土壌散布	2回以内
	駐車場 道路 運動場	多年性雑草		30～60 kg/10a			
	宅地 墓地 鉄道等	スギナ		30～45 kg/10a			

*1：第23283号クサハンターDX 粒剤は単位が g/m²

[変更後]

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量 ^{*1}	本剤の使用回数	使用方法	ヘキサジノンを含む農薬の総使用回数
樹木等	<u>駐車場</u> <u>道路</u> <u>運動場</u> <u>宅地等</u>	一年生雑草	雑草生育期 (草丈 30cm 以下)	7.5～30 kg/10a	2 回以内	植栽地を除く樹木等の周辺地に全面土壌散布	2 回以内
		多年性雑草		30～60 kg/10a			
		スギナ		30～45 kg/10a			

*1：第 23283 号クワハター DX 粒剤は単位が g/m²

② 第 23288 号ラーチ E 粒剤及び第 23289 号草退治 E 粒剤

[変更前]

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	ヘキサジノンを含む農薬の総使用回数	DBN を含む農薬の総使用回数
樹木等	<u>公園</u> <u>庭園</u> <u>堤とう</u> <u>駐車場</u> <u>道路</u> <u>運動場</u> <u>宅地</u> <u>墓地</u> <u>鉄道等</u>	一年生雑草	雑草生育初期 (草丈 20cm 以下)	15～30 kg/10a	2 回以内	植栽地を除く樹木等の周辺地に全面土壌散布	2 回以内	3 回以内
		多年性広葉雑草 スギナ		30～50 kg/10a				

[変更後]

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量 ^{*2}	本剤の使用回数	使用方法	ヘキサジノンを含む農薬の総使用回数	DBN を含む農薬の総使用回数
樹木等	<u>駐車場</u> <u>道路</u> <u>運動場</u> <u>宅地等</u>	一年生雑草	雑草発生前	7.5～15 kg/10a	2 回以内	植栽地を除く樹木等の周辺地に全面土壌散布	2 回以内	3 回以内
			雑草生育初期	15～30 kg/10a				
		多年性広葉雑草 スギナ	(草丈 20cm 以下)	30～50 kg/10a				

*2：第 23289 号草退治 E 粒剤は単位が g/m²

③ 第 23290 号ライト[®]エイ V 粒剤及び第 23291 号ネコノキ[®]エース V 粒剤

[変更前]

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量*3	本剤の使用回数	使用方法	ヘキサジノンを含む農薬の総使用回数	DBNを含む農薬の総使用回数	DCMUを含む農薬の総使用回数
樹木等	公園 庭園 堤とう 駐車場 道路 運動場 宅地 墓地 鉄道等	一年生雑草	雑草発生前	5~15 kg/10a	2回 以内	植栽地を除く樹木等の周辺地に全面土壌散布	2回以内	3回以内	3回以内
			雑草生育初期 (草丈 20cm 以下)	15~30 kg/10a					
		多年性広葉雑草 スギナ							

*3：第 23291 号ネコノキ[®]エース V 粒剤は単位が g/m²

[変更後]

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量*3	本剤の使用回数	使用方法	ヘキサジノンを含む農薬の総使用回数	DBNを含む農薬の総使用回数	DCMUを含む農薬の総使用回数
樹木等	駐車場 道路 運動場 宅地等	一年生雑草	雑草発生前	5~15 kg/10a	2回 以内	植栽地を除く樹木等の周辺地に全面土壌散布	2回以内	3回以内	3回以内
			雑草生育初期 (草丈 20cm 以下)	15~30 kg/10a					
		多年性広葉雑草 スギナ							
		多年生イ科雑草		20~30 kg/10a					

*3：第 23291 号ネコノキ[®]エース V 粒剤は単位が g/m²

【 変更理由 】

雑草以外の植物が生育していることが想定される場所での使用を制限するため。

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成27年6月10日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第14166号	トラサイドA乳剤	マラソン・MEP乳剤	サンケイ化学（株）

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかるとの部分のみ）】

- ・作物名「みかん」の適用病害虫「カミキリムシ類」の希釈倍数を「100～200倍」から「200倍」に変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかるとの部分のみ）】

【変更前】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	マラソンを含む農薬の総使用回数	MEPを含む農薬の総使用回数
みかん	カミキリムシ類	<u>100～200倍</u>	—	産卵最盛期～ 幼虫食入初期 但し 収穫14日前まで	1回	樹幹部に 十分散布	5回以内	5回以内 (樹幹処理 は1回以内)

【変更後】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	マラソンを含む農薬の総使用回数	MEPを含む農薬の総使用回数
みかん	カミキリムシ類	<u>200倍</u>	—	産卵最盛期～ 幼虫食入初期 但し 収穫14日前まで	1回	樹幹部に 十分散布	5回以内	5回以内 (樹幹処理 は1回以内)

【変更理由】

登録内容の登録維持に必要な試験成績整備に経費と時間を要するため。

平成27年5月22日

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成27年6月24日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第23553号	デュポン ベネビアOD	シアントラニリプロール水和剤	デュポン（株）
第23554号	クミアイベネビアOD	シアントラニリプロール水和剤	クミアイ化学工業（株）
第23555号	兼商ベネビアOD	シアントラニリプロール水和剤	アグロ カネショウ（株）

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

作物名「なす」を削除する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

[変更前]

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアントラニリプロールを含む農薬の総使用回数
なす	アブラムシ類	2000倍	100～300L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	4回以内 (定植時までの処理は1回以内、定植後の散布は3回以内)

[変更後]

(削除)

【変更理由】

登録維持に必要な資料整備に経費と時間を要するため。

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成27年7月8日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第20796号	FMCアドバンテージS粒剤	カルボスルファン粒剤	エフエムシー・ケミカルズ（株）
第21074号	石原アドバンテージS粒剤	カルボスルファン粒剤	石原バイオサイエンス（株）
第23181号	ISKアドバンテージS粒剤	カルボスルファン粒剤	石原産業（株）

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

作物名「かんしょ」、「ねぎ」、「だいこん」を削除する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

[変更前]

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	カルボスルファンを含む農薬の総使用回数
かんしょ	コガネシジメ類幼虫	6~9 kg/10a	植付時	1回	植溝処理 土壌混和	4回以内 (植付時の土壌混和は 1回以内)
	ハリガネシジメ類	9 kg/10a				
ねぎ	ネギアザミヤ ネギハモグリバエ	3~6 kg/10a	定植時		作条処理 土壌混和	2回以内 (マイクロカプセル剤は1回以内、 粒剤のは種時の土壌混和は 1回以内、粒剤の定植時の 土壌混和は1回以内)
	だいこん		キジノミハムシ			

[変更後]

削除

【変更理由】

新たに導入された短期暴露評価に対応して製造者が自ら短期的な摂取量を試算した結果、本剤の使用により想定される最高濃度で残留した農作物を一度又は1日に多く摂取した場合に、想定される急性参照用量を超過することが予想されたため。

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成27年7月8日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第15474号	アドバンテージ粒剤	カルボスルファン粒剤	日産化学工業（株）
第20795号	FMCアドバンテージ粒剤	カルボスルファン粒剤	エフエムシー・ケミカルズ（株）
第21047号	石原アドバンテージ粒剤	カルボスルファン粒剤	石原バイオサイエンス（株）

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかっている部分のみ）】

作物名「きゅうり」、「すいか」、「なす」、「メロン」、「だいこん」、「かんしょ」、「いちご」、「ねぎ」、「とうがん」を削除する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかっている部分のみ）】

[変更前]

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	カルボスルファンを含む農薬の総使用回数	
きゅうり すいか	シキイロアザミマ	株当たり 0.5～1g	育苗期後半	1回	株元処理	1回	
		株当たり 1～2g	定植時		植穴処理		
なす メロン		株当たり 0.5g	育苗期後半		株元処理		
		株当たり 1～2g	定植時		植穴処理		
だいこん	キズノミハシ	3～6kg/10a	は種時		播溝処理 土壌混和	4回以内 (植付時の土壌混和は 1回以内)	
かんしょ	コガネシジメ類幼虫 アリモドキゾウムシ イモゾウムシ	6～9kg/10a	植付時		植溝処理 土壌混和		
いちご	コガネシジメ類幼虫	10～20kg/10a	仮植床植付時		2回以内	土壌混和	1回
	ネグサレセンチュウ		本圃定植時				
ねぎ	ネギハモグリバエ ネギアザミマ	3～6kg/10a	育苗期及び 定植時	育苗期： 株元散布 定植時： 作条処理 土壌混和	2回以内 (マイクロカプセル剤は1回以内、 粒剤のは種時の 土壌混和は1回以内、 粒剤の定植時の 土壌混和は1回以内)		
とうがん	シキイロアザミマ	株当たり 1～2g	定植時	1回	植穴処理	1回	

[変更後]

削除

【変更理由】

新たに導入された短期暴露評価に対応して製造者が自ら短期的な摂取量を試算した結果、本剤の使用により想定される最高濃度で残留した農作物を一度又は1日に多く摂取した場合に、想定される急性参照用量を超過することが予想されたため。

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成27年7月8日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第23194号	ガーデンホスピタル粒剤	ベンフラカルブ粒剤	OATアグリオ（株）

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかるとなる部分のみ）】

作物名「きゅうり」、「すいか」、「メロン」、「なす」、「なばな」、「キャベツ」、「はくさい」、「だいこん」、「ブロッコリー」、「カリフラワー」、「レタス」、「ねぎ」、「わけぎ」、「ほうれんそう」、「いちご」、「かんしょ」、「ばれいしょ」、「オクラ」を削除する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかるとなる部分のみ）】

[変更前]

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ベンフラカルブを含む農薬の総使用回数
きゅうり	アブラムシ類	1g/株	定植時	1回	植穴散布	1回
	シシトウアザミ				植穴土壌混和	
	シシトウアザミ	0.5～1g/株	育苗期後半 又は定植時		株元散布	
すいか	アブラムシ類	1g/株	定植時		植穴散布	
	メロン	シシトウアザミ	0.5～1g/株		育苗期後半 又は定植時	
0.5g/株						
なす		1g/株	定植時		植穴散布	
なばな	アブラムシ類	3kg/10a	定植時 但し、収穫30日前まで		株元散布	
	アブラムシ類 キスジノミハムシ		は種時		播溝土壌混和	
キャベツ	コカ アオムシ	1～2g/株	育苗期後半		株元散布	
	アブラムシ類	3～6kg/10a (1～2g/株)	定植時		株元散布又は 植穴土壌混和	
はくさい	コカ アオムシ	2g/株	育苗期後半		植穴土壌混和	
	アブラムシ類			株元散布		
	アブラムシ類	1g/株	育苗期後半	株元散布		
だいこん	アブラムシ類	3kg/10a	は種時	播溝土壌混和		
	キスジノミハムシ アオムシ	3～6kg/10a		株元散布		
ブロッコリー	アオムシ	1g/株	育苗期後半	植穴土壌混和		
カリフラワー			定植時	株元散布		
レタス	ナメケリハエ	0.25g/株	定植当日	株元散布		

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ベンフラカルブを含む農薬の総使用回数
ねぎ	ネギハモグリバエ ネギアザミヤ ネギコカ	3～6kg/10a	定植時又は生育期 但し、収穫45日前まで	1回	植溝土壌混和 又は 株元散布	2回以内 (定植時の処理 及び生育期の 株元散布は合計 1回以内、散布は 1回以内)
わけぎ						2回以内 (定植時の土壌 混和及び生育期 の株元散布は 合計1回以内、 散布は1回以内)
ほうれんそう	ヤギシトビムシ アブラムシ類	3kg/10a	は種時		播溝土壌混和	1回
いちご	アブラムシ類	4kg/10a	定植時		植穴土壌混和 又は 植溝土壌混和	
	ネギサレセンチュウ	20kg/10a	仮植時		全面土壌混和	
かんしょ	コガネムシ類幼虫	9kg/10a	植付時		植溝土壌混和	3回以内 (植付時の 土壌混和は 1回以内)
ばれいしょ	ナスビハムシ	3～4kg/10a	植付時		植溝土壌混和	1回
	ワタアブラムシ	4kg/10a				
オクラ	アブラムシ類	0.5g/株	収穫60日前まで		株元散布	

[変更後]
削除

【変更理由】

新たに導入された短期暴露評価に対応して製造者が自ら短期的な摂取量を試算した結果、本剤の使用により想定される最高濃度で残留した農作物を一度又は1日に多く摂取した場合に、想定される急性参照用量を超過することが予想されたため。

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成27年7月8日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第17400号	ガゼット粒剤	カルボスルファン粒剤	日産化学工業(株)
第20794号	FMC ガゼット粒剤	カルボスルファン粒剤	エフエムシー・ケミカルズ(株)
第21046号	石原ガゼット粒剤	カルボスルファン粒剤	石原バイオサイエンス(株)
第23446号	ISK ガゼット粒剤	カルボスルファン粒剤	石原産業(株)

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

作物名「なす」、「きゅうり」、「すいか」、「とうがん」、「だいこん」、「キャベツ」、「はくさい」、「ねぎ」、「ブロッコリー」、「ばれいしょ」、「かんしょ」、「いちご」、「メロン」を削除する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

[変更前]

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	カルボスルファンを含む農薬の総使用回数
なす	ミカンキイロアザミヤ	2g/株	定植時	1回	株元散布	1回
	アブラムシ類	1~2g/株			育苗期後半	
	ミカンキイロアザミヤ	1g/株	定植時		定植時： 株元散布又は 植穴土壌混和	
きゅうり	アブラムシ類	1~2g/株	定植時		植穴土壌混和	
すいか		1g/株	育苗期後半		播溝土壌混和	
とうがん	ミカンキイロアザミヤ	2g/株	定植時		は種時	
だいこん	キシノミハムシ	3~6kg/10a	は種時	2回以内	株元散布	4回以内 (マイクロブセル剤は 2回以内、粒剤は 2回以内(定植時は 1回以内))
		6kg/10a	は種覆土後			
キャベツ	コナガ	2g/株 (6kg/10a)	生育初期 但し、収穫45日 前まで	1回	育苗期後半： 株元散布 定植時： 株元散布又は 植穴土壌混和	
		1~2g/株 (3~6kg/10a)	育苗期後半			
	アオムシ アブラムシ類	1~2g/株 (3~6kg/10a)	定植時			

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	カルボスルファンを含む農薬の総使用回数
はくさい	コナガ	1～2g/株 (3～6kg/10a)	定植時	1回	育苗期後半： 株元散布 定植時： 株元散布又は 植穴土壌混和	1回
	アブラムシ類	2g/株 (6kg/10a)	定植時			
		1～2g/株 (3～6kg/10a)	育苗期後半			
ねぎ	ネギハモグリバエ ネギアザミウマ	3～6kg/10a	は種時	2回 以内	株元散布	2回以内 (マイクロプロセル剤は 1回以内、粒剤の は種時の土壌混和 は1回以内、粒剤の 定植時の土壌混和 は1回以内)
			定植時			
			生育期 但し、収穫45 日前まで			
	ネギコガ	6kg/10a	育苗期後半	1回	植溝土壌混和	
定植時			1回	植溝土壌混和		
ブロッコリー	コナガ	1～2g/株 (3～6kg/10a)	定植時	1回	株元散布又は 植穴土壌混和	1回
			育苗期後半		株元散布	
ばれいしょ	ナストビハムシ		植付時		植溝土壌混和	
かんしょ	アリモトキゾウムシ イモゾウムシ	6kg/10a	生育期 但し、収穫45 日前まで	4回 以内	株元散布	4回以内 (植付時の土壌混 和は1回以内)
	ハリガネムシ	9kg/10a	植付時	植溝土壌混和		
	コガネムシ類幼虫	6～9kg/10a			仮植床植付時	全面土壌混和
いちご	アブラムシ類	0.4～0.75g/株 (6～9kg/10a)	本圃定植時	1回	株元散布又は 植穴土壌混和	1回
	キンケチアブトゾウムシ幼虫	2g/株			株元散布	
メロン	アブラムシ類 ミナミキアザミウマ	1～2g/株	定植時		育苗期後半： 株元散布 定植時： 株元散布又は 植穴土壌混和	1回
		1g/株	育苗期後半			

[変更後]

削除

【変更理由】

新たに導入された短期暴露評価に対応して製造者が自ら短期的な摂取量を試算した結果、本剤の使用により想定される最高濃度で残留した農作物を一度又は1日に多く摂取した場合に、想定される急性参照用量を超過することが予想されたため。

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成27年7月8日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第20317号	グラントオンコル粒剤	ベンフラカルブ粒剤	OATアグリオ（株）

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

作物名「きゅうり」、「キャベツ」、「ねぎ」を削除する。

【適用表】

[変更前]

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ベンフラカルブを含む農薬の総使用回数
きゅうり	ミカンキロアザミヤ	0.5g/株	定植時	1回	植穴土壌混和	1回
キャベツ	コガ アオムシ	1g/株			株元散布	
ねぎ	ネギアザミヤ	3kg/10a	生育期 (但し収穫45日前 まで)			

[変更後]

削除

【変更理由】

新たに導入された短期暴露評価に対応して製造者が自ら短期的な摂取量を試算した結果、本剤の使用により想定される最高濃度で残留した農作物を一度又は1日に多く摂取した場合に、想定される急性参照用量を超過することが予想されたため。

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成27年7月8日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第20345号	オンダイアエース粒剤	ダイアジノン・ベンフラカルブ粒剤	OATアグリオ（株）

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかるとの部分のみ）】

作物名「キャベツ」、「はくさい」、「ブロッコリー」、「ばれいしょ」、「ねぎ」、「すいか」、「メロン」、「なす」、「だいこん」を削除する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかるとの部分のみ）】

[変更前]

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ダイアジノンを含む農薬の総使用回数	ベンフラカルブを含む農薬の総使用回数	
キャベツ	コガアブラムシ類	6kg/10a (2g/株)	定植時	1回	植穴土壌混和	2回以内	1回	
	コガアブラムシ類 ネキリムシ類	1g/株	育苗期後半 (但し、収穫 30日前まで)		株元散布			
はくさい	コガアブラムシ類	6kg/10a (2g/株)	定植時		植穴土壌混和	1回		
ブロッコリー	コガネキリムシ類	1g/株	育苗期後半		株元散布	2回以内（粒剤の 生育期の処理は 1回以内）		
ばれいしょ	アブラムシ類	6kg/10a	植付時		植溝土壌混和	3回以内（植付前の 土壌混和は1回以 内）		2回以内 (定植時の処理及び 生育期の株元散布は 合計1回以内、散布 は1回以内)
ねぎ	ネギアザミヤネキリムシ類		定植時			2回以内		
すいか メロン	アブラムシ類	3kg/10a	定植時		作条土壌混和	4回以内（粒剤の 生育期の処理は 3回以内）		1回
なす						3回以内（粒剤の 生育期の処理は 2回以内）		
だいこん	キジナミハムシ ネキリムシ類	3～6kg/10a	は種時	播溝土壌混和	2回以内（生育期は 1回以内）			

[変更後]

削除

【 変更理由 】

新たに導入された短期暴露評価に対応して製造者が自ら短期的な摂取量を試算した結果、本剤の使用により想定される最高濃度で残留した農作物を一度又は1日に多く摂取した場合に、想定される急性参照用量を超過することが予想されたため。

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成27年7月8日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第20337号	オンコルマイクロカプセル	ベンフラカルブ マイクロカプセル剤	OATアグリオ（株）

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

作物名「キャベツ」、「はくさい」、「ブロッコリー」、「カリフラワー」、「レタス」、「非結球レタス」、「ねぎ」、「わけぎ」、「にら」を削除する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

[変更前]

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ベンフラカルブを含む農薬の総使用回数
キャベツ はくさい	コナガ	100～ 200倍	セル成型育苗トレイ 1箱または ペーパーポット1冊 (30×60cm、 使用土壌約3L) 当り0.5L	定植時	1回	灌注	1回
ブロッコリー カリフラワー		200倍					
レタス 非結球レタス	ナメグリハエ	100～ 200倍					
ねぎ	ネギアザミヤ ネギハメグリハエ	1000～ 2000倍	150～300L/10a	収穫14日前 まで	1回	散布	2回以内 (定植時の処理及び 生育期の株元散布は 合計1回以内、散布は 1回以内)
わけぎ							2回以内 (定植時の土壌混和 及び生育期の株元散 布は合計1回以内、 散布は1回以内)
にら	ネギアザミヤ	2000倍		収穫21日前 まで			2回以内

[変更後]

削除

【変更理由】

新たに導入された短期暴露評価に対応して製造者が自ら短期的な摂取量を試算した結果、本剤の使用により想定される最高濃度で残留した農作物を一度又は1日に多く摂取した場合に、想定される急性参照用量を超過することが予想されたため。

平成27年6月8日

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成27年7月8日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第22787号	オンコルOK粒剤	ベンフラカルブ粒剤	OATアグリオ（株）

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかるとの部分のみ）】

作物名「かんしょ」、「とうがん」、「オクラ」を削除する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかるとの部分のみ）】

[変更前]

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ベンフラカルブを含む農薬の総使用回数
かんしょ	コガネシジメ類幼虫	9kg/10a	植付時	1回	植溝土壌混和	3回以内 (植付時の土壌混和は1回以内)
	アリモドキゾウムシ イモゾウムシ	6kg/10a (1g/株)	生育期	3回以内	株元散布	
とうがん	シメキイロアザミマ	1～2g/株	定植時	1回	植穴散布	1回
オクラ	アブラムシ類	0.5g/株	収穫60日前まで		株元散布	

[変更後]

削除

【変更理由】

新たに導入された短期暴露評価に対応して製造者が自ら短期的な摂取量を試算した結果、本剤の使用により想定される最高濃度で残留した農作物を一度又は1日に多く摂取した場合に、想定される急性参照用量を超過することが予想されたため。

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成27年7月8日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第21972号	オンコルスタークル粒剤	ジノテフラン・ベンフラカルブ粒剤	三井化学アグロ（株）
第21973号	大塚オンコルスタークル粒剤	ジノテフラン・ベンフラカルブ粒剤	OATアグリオ（株）

■ 変更内容及び変更理由

【 変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

作物名「ねぎ」、「きゅうり」、「なす」、「メロン」を削除する。

【 適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

[変更前]

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数	ベンフラカルブを含む農薬の総使用回数	
ねぎ	アザミウマ類 ハモグリバエ類	3～6 kg/10a	生育期 但し、収穫45日前 まで	1回	株元 散布	4回以内 (は種時の土壌混和、 育苗トレイへの灌注及び 定植時の株元散布は 合計1回以内、生育期の 株元灌注は1回以内、 散布及び定植後の株元 散布は合計2回以内)	2回以内 (定植時の処理 及び生育期の 株元散布は合計 1回以内、散布は 1回以内)	
			定植時					
きゅうり	コナジラミ類 アザミウマ類	1g/株	4回以内（育苗期の株元 散布、定植時の土壌混和 及び定植時の株元散布は 合計1回以内、定植後の 株元散布は1回以内、 散布は2回以内)					1回
なす			3回以内（育苗期の株元 散布、定植時の土壌混和 及び定植時の株元散布は 合計1回以内、散布及び 定植後の株元散布は 合計2回以内)					
メロン			3回以内 (育苗期の株元散布、 定植時の土壌混和及び 定植時の株元散布は合計 1回以内、散布は2回以内)					

[変更後]

削除

【 変更理由】

新たに導入された短期暴露評価に対応して製造者が自ら短期的な摂取量を試算した結果、本剤の使用により想定される最高濃度で残留した農作物を一度又は1日に多く摂取した場合に、想定される急性参照用量を超過することが予想されたため。

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成27年7月8日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第18190号	オンコル粒剤1	ベンフラカルブ粒剤	OATアグリオ（株）
第19681号	ホームガーデン粒剤	ベンフラカルブ粒剤	OATアグリオ（株）

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

作物名「キャベツ」、「きゅうり」、「すいか」、「メロン」、「なす」、「ねぎ」、「はくさい」、「だいこん」を削除する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

[変更前]

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ベンフラカルブを含む農薬の総使用回数
キャベツ	コガ アオシ アブラムシ類	3～6g/株	定植時	1回	植穴土壌混和	1回
きゅうり	メキイロアザミウマ	2g/株				
すいか メロン	アブラムシ類	1～2g/株				
		3g/株				
なす	アブラムシ類 メキイロアザミウマ	1～2g/株				
ねぎ	ネギアザミウマ	10kg/10a			植溝土壌混和	2回以内 (定植時の処理及び 生育期の株元散布は 合計1回以内、散布は 1回以内)
はくさい	コガ	6g/株			植穴土壌混和	1回
だいこん	アブラムシ類	15kg/10a	は種時	播溝土壌混和		

[変更後]

削除

【変更理由】

新たに導入された短期暴露評価に対応して製造者が自ら短期的な摂取量を試算した結果、本剤の使用により想定される最高濃度で残留した農作物を一度又は1日に多く摂取した場合に、想定される急性参照用量を超過することが予想されたため。

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成27年7月8日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第16575号	オンコル粒剤5	ベンフラカルブ粒剤	OATアグリオ（株）

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかるとの部分のみ）】

作物名「きゅうり」、「すいか」、「メロン」、「なす」、「なばな」、「キャベツ」、「はくさい」、「だいこん」、「ブロッコリー」、「カリフラワー」、「レタス」、「ねぎ」、「わけぎ」、「ほうれんそう」、「とうがん」、「いちご」、「かんしょ」、「ばれいしょ」、「オクラ」を削除する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかるとの部分のみ）】

[変更前]

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ベンフラカルブを含む農薬の総使用回数
きゅうり	アブラムシ類	1.0g/株	定植時	1回	植穴散布	1回
	ミカンキイロアザミマ				植穴土壌混和	
	ミナキイロアザミマ	0.5～1.0g/株	育苗期後半 又は定植時		株元散布	
すいか	アブラムシ類	1.0g/株	定植時		植穴散布	
メロン	ミナキイロアザミマ	0.5～1.0g/株	育苗期後半 又は定植時		株元散布	
なす						
		1.0g/株	定植時		植穴散布	
なばな	アブラムシ類	3kg/10a	定植時 但し、収穫30日前まで		株元散布	
	アブラムシ類 キスジノミムシ		は種時		播溝土壌混和	
キャベツ	コナガアオムシ アブラムシ類	1～2g/株	育苗期後半		株元散布	
	コナガ	6kg/10a	は種時		全面土壌混和	
	コナガ アオムシ アブラムシ類	3～6kg/10a (1～2g/株)	定植時		株元散布又は 植穴土壌混和	
はくさい	コナガ アオムシ	2g/株			植穴土壌混和	
	アブラムシ類					
	コナガ アオムシ アブラムシ類	1g/株	育苗期後半		株元散布	
だいこん	アブラムシ類	3kg/10a	は種時		播溝土壌混和	
	キスジノミムシ アオムシ	3～6kg/10a				
ブロッコリー	アオムシ	1g/株	育苗期後半	株元散布		
カリフラワー			定植時	植穴土壌混和		
レタス	ナメグリハエ	0.25g/株	定植当日	株元散布		

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ベンフラカルブを含む農薬の総使用回数
ねぎ	ネギハモグリハエ ネギアザミウマ ネギコカ	3～6kg/10a	定植時又は生育期 但し、収穫45日前まで	1回	植溝土壌混和 又は 株元散布	2回以内 (定植時の処理 及び生育期の 株元散布は合計 1回以内、散布は 1回以内)
わけぎ						2回以内 (定植時の土壌 混和及び生育期 の株元散布は 合計1回以内、 散布は1回以内)
ほうれんそう	ヤギシトビムシ アブラムシ類	3kg/10a	は種時		播溝土壌混和	1回
	ハコバハナハエ				全面土壌混和	
とうがん	ミミキイロアザミウマ	1～2g/株	定植時		植穴散布	
いちご	アブラムシ類	4kg/10a			植穴土壌混和 又は 植溝土壌混和	
	ネグサレセンチュウ	20kg/10a			全面土壌混和	
	コガネムシ類幼虫	6～9kg/10a	仮植時又は 定植時			
かんしょ	コガネムシ類幼虫	9kg/10a	植付時	植溝土壌混和	3回以内 (植付時の 土壌混和は 1回以内)	
	アリモドキゾウムシ イソゾウムシ	6kg/10a (1g/株)	生育期	株元散布		
ばれいしょ	ナストビムシ	3～4kg/10a	植付時	1回	植溝土壌混和	1回
	ワタアブラムシ	4kg/10a				
オクラ	アブラムシ類	0.5g/株	収穫60日前まで		株元散布	

[変更後]

削除

【変更理由】

新たに導入された短期暴露評価に対応して製造者が自ら短期的な摂取量を試算した結果、本剤の使用により想定される最高濃度で残留した農作物を一度又は1日に多く摂取した場合に、想定される急性参照用量を超過することが予想されたため。

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成27年7月8日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第20092号	大塚ジャッジ箱粒剤	ベンフラカルブ・プロベナゾール粒剤	OATアグリオ（株）
第20093号	明治ジャッジ箱粒剤	ベンフラカルブ・プロベナゾール粒剤	Meiji Seikaファルマ（株）

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかるとの部分のみ）】

作物名「きゅうり」、「キャベツ」、「ねぎ」を削除する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかるとの部分のみ）】

[変更前]

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ベンフラカルブを含む農薬の総使用回数	プロベナゾールを含む農薬の総使用回数
きゅうり	アブラムシ類 斑点細菌病	2g/株	定植時	1回	植穴土壌混和	1回	1回
キャベツ	コナガ	3kg/10a			作条土壌混和		
ねぎ	軟腐病 ネギアザミヤ		土寄せ時 但し、収穫45日 前まで		株元散布	2回以内 (定植時の処理 及び生育期の 株元散布は合計 1回以内、散布は 1回以内)	2回以内

[変更後]

削除

【変更理由】

新たに導入された短期暴露評価に対応して製造者が自ら短期的な摂取量を試算した結果、本剤の使用により想定される最高濃度で残留した農作物を一度又は1日に多く摂取した場合に、想定される急性参照用量を超過することが予想されたため。

平成27年9月11日

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成27年10月14日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第18163号	エリジャン乳剤	プレチラクロール乳剤	シンジェンタジャパン（株）

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかるとなる部分のみ）】

作物名「移植水稻」の使用量を「300～500mL/10a」から「300mL/10a」に変更。

【適用表（今回の使用制限変更にかかるとなる部分のみ）】

〔変更前〕

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	プレチラクロールを含む農薬の総使用回数
移植水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ	植代後～ 移植7日 前まで	壤土～ 埴土	<u>300～ 500mL/10a</u>	1回	原液 湛水 散布	全域の普通 期及び早期 栽培地帯	2回以内

〔変更後〕

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	プレチラクロールを含む農薬の総使用回数
移植水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ	植代後～ 移植7日 前まで	<u>300mL/10a</u>	1回	原液 湛水 散布	2回以内

【変更理由】

移植前と移植後の使用量を統一するため。

平成27年9月11日

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成27年10月14日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第13778号	キャプレート水和剤	キャプタン・ベノミル水和剤	三井化学アグロ(株)

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

- ・作物名「芝」を削除する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

[変更前]

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	キャプタンを含む農薬の総使用回数	ベノミルを含む農薬の総使用回数
芝	葉腐病 (ブラウンパッチ)	400～650倍	発病初期	6回以内	1m ² 当り 1L 散布	8回以内	6回以内
	葉腐病 (ライムパッチ)	350～500倍					

[変更後]

削除

【変更理由】

登録維持に必要な資料整備に経費と時間を要するため。

平成27年9月11日

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成27年10月14日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第17902号	ビリーブ水和剤	シハロリン・ジフルベンズロン水和剤	アグロ カネショウ(株)
第17903号	ICIビリーブ水和剤	シハロリン・ジフルベンズロン水和剤	シンジェンタジャパン(株)

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

作物名「かき」を削除する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

[変更前]

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シハロリンを含む農薬の総使用回数	ジフルベンズロンを含む農薬の総使用回数
かき	カメムシ類 チャノキイロアザミウマ カキクダアザミウマ	1500倍	収穫30日前まで	2回以内	散布	3回以内	2回以内

[変更後]

削除

【変更理由】

有効成分シハロリンについて、新たに導入された短期暴露評価に対応して製造者が自ら短期的な摂取量を試算した結果、登録の維持には試験成績の整備が必要であることが判明し、それには経費と時間を要することから、登録変更をすることとしたため。

平成27年9月11日

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成27年10月14日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第17013号	サイハロン乳剤	シハロトリン乳剤	シンジェンタジャパン(株)

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

作物名「トマト」及び「ミニトマト」を削除する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

〔変更前〕

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シハロトリンを含む農薬の総使用回数
トマト	オンシツコナジラミ	2000～3000倍	100～300L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
	アブラムシ類	2000倍					
ミニトマト	オンシツコナジラミ	2000～3000倍			1回		1回
	アブラムシ類	2000倍					

〔変更後〕

削除

【変更理由】

有効成分シハロトリンについて、新たに導入された短期暴露評価に対応して製造者が自ら短期的な摂取量を試算した結果、登録の維持には試験成績の整備が必要であることが判明し、それには経費と時間を要することから、登録変更をすることとしたため。

平成27年9月11日

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成27年10月14日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第17009号	サイハロン水和剤	シハロトリン水和剤	シンジェンタジャパン(株)
第17010号	日農サイハロン水和剤	シハロトリン水和剤	日本農薬(株)

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

作物名「かき」、「ぶどう」及び「非結球レタス」を削除する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

〔変更前〕

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シハロリンを含む農薬の総使用回数
かき	カキノヘタムシガ	2000～3000倍	収穫7日前まで	3回以内	散布	3回以内
	チャノキイロアザミウマ カキクダアザミウマ イラガ類 カメムシ類	2000倍				
ぶどう	チャノキイロアザミウマ		収穫21日前まで	1回		1回
非結球レタス	アブラムシ類	2000～3000倍		3回以内		3回以内

〔変更後〕

削除

【変更理由】

有効成分シハロトリンについて、新たに導入された短期暴露評価に対応して製造者が自ら短期的な摂取量を試算した結果、登録の維持には試験成績の整備が必要であることが判明し、それには経費と時間を要することから、登録変更をすることとしたため。

平成27年9月25日

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成27年10月28日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第21792号	カルビオ	ピラクロストロビン水和剤	BASFジャパン(株)

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

作物名「なし」及び「ぶどう」を削除する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

〔変更前〕

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ピラクロストロビンを含む農薬の総使用回数
なし	黒斑病	5000倍	200～700L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
ぶどう	べと病 うどんこ病	4000倍		収穫7日前まで			

〔変更後〕

削除

【変更理由】

有効成分ピラクロストロビンについて、新たに導入された短期暴露評価に対応して製造者が自ら短期的な摂取量を試算した結果に基づき、登録変更をすることとしたため。

平成27年9月25日

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成27年10月28日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第21720号	オサダンフロアブル	酸化フェンブタズ水和剤	BASFジャパン(株)

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

作物名「いちご」を削除する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

〔変更前〕

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	酸化フェンブタズを含む農薬の総使用回数
いちご	ハダニ類	2000倍	100～300L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内

〔変更後〕

削除

【変更理由】

有効成分酸化フェンブタズについて、新たに導入された短期暴露評価に対応して製造者が自ら短期的な摂取量を試算した結果に基づき、登録変更をすることとしたため。

平成27年9月25日

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成27年10月28日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第14361号	オサダン水和剤25	酸化フェンブタスズ水和剤	BASFジャパン(株)

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

作物名「いちご」を削除する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

〔変更前〕

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	酸化フェンブタスズを含む農薬の総使用回数
いちご	ハダニ類	1000～1500倍	100～300L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内

〔変更後〕

削除

【変更理由】

有効成分酸化フェンブタスズについて、新たに導入された短期暴露評価に対応して製造者が自ら短期的な摂取量を試算した結果に基づき、登録変更をすることとしたため。

平成27年10月26日

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成27年11月25日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第22461号	アクセルフロアブル	メタフルミゾン水和剤	日本農薬㈱

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかるとの部分のみ）】

作物名「非結球レタス」の使用時期を「収穫前日まで」から「収穫7日前まで」に変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかるとの部分のみ）】

【変更前】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	メタフルミゾンを含む農薬の総使用回数
非結球レタス	ハスモンヨトウ オオタバコガ	1000～2000倍	100～300 L/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内

【変更後】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	メタフルミゾンを含む農薬の総使用回数
非結球レタス	ハスモンヨトウ オオタバコガ	1000～2000倍	100～300 L/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	2回以内

【変更理由】

新たに導入された短期暴露評価に対応して製造者が自ら短期的な摂取量を試算した結果、登録の維持には試験成績の整備が必要であることが判明し、それには経費と時間を要することから、登録変更をすることとしたため。

平成27年12月4日

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成28年1月6日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第17814号	サンマイトフロアブル	ピリダベン水和剤	日産化学工業株式会社

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

作物名「トマト」、「ミニトマト」を削除する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

[変更前]

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ピリダベンを含む農薬の総使用回数
トマト	コナジラミ類	1000～1500倍	100～300 L/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
	ハダニ類 トマトサビダニ	1500倍					
ミニトマト	コナジラミ類	1000～1500倍					
	ハダニ類 トマトサビダニ	1500倍					

[変更後]

削除

【変更理由】

新たに導入された短期暴露評価に対応して製造者が自ら短期的な摂取量を試算した結果、登録の維持には試験成績の整備が必要であることが判明し、それには経費と時間を要することから、登録変更をすることとしたため。

平成27年12月21日

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成28年1月20日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第19252号	モンカットフロアブル40	フルトラニル水和剤	日本農薬(株)
第19654号	日産モンカットフロアブル40	フルトラニル水和剤	日産化学工業(株)

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

作物名「リーフレタス」及び「サラダ菜」の使用時期を「収穫14日前まで」から「収穫30日前まで」に変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

【変更前】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルトラニルを含む農薬の総使用回数
リーフレタス	すそ枯病	1000～2000倍	100～300 L/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布	4回以内 (種子粉衣は1回以内、 は種後は3回以内)
サラダ菜		2000倍					

【変更後】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルトラニルを含む農薬の総使用回数
リーフレタス	すそ枯病	1000～2000倍	100～300 L/10a	収穫30日前まで	3回以内	散布	4回以内 (種子粉衣は1回以内、 は種後は3回以内)
サラダ菜		2000倍					

【変更理由】

「リーフレタス」及び「サラダ菜」は、近年、地域によっては、トンネルを用いた栽培方法が増加傾向にある。このような栽培方法で、現在の登録内容のうち最も残留する条件で本剤を「リーフレタス」又は「サラダ菜」に使用した場合、残留基準値を超過することが懸念されたため。

平成27年12月25日

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成28年2月3日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第23292号	セルカディスフロアブル	フルキサピロキサド水和剤	BASFジャパン(株)

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

作物名「西洋芝（ベントグラス）」の適用病害名「葉腐病（ブラウンパッチ）」及び「フェアリーリング病」を削除する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

〔変更前〕

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルキサピロキサドを含む農薬の総使用回数
西洋芝 (ベントグラス)	雪腐小粒菌核病	400倍	100mL/m ²	根雪前	4回以内	散布	4回以内
	<u>葉腐病(ブラウンパッチ)</u> <u>フェアリーリング病</u>	2000倍	500mL/m ²	<u>発病初期</u>			

〔変更後〕

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルキサピロキサドを含む農薬の総使用回数
西洋芝 (ベントグラス)	雪腐小粒菌核病	400倍	100mL/m ²	根雪前	4回以内	散布	4回以内
		2000倍	500mL/m ²				

【変更理由】

製造者は、西洋芝（ベントグラス）向けの販売に関して、現場における省力化などを考慮した新規混合剤に特化した販売・普及をしていく方針であるため。

平成 28 年 3 月 4 日

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成 28 年 4 月 6 日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第13426号	トクチオン乳剤	プロチオホス乳剤	アリストライフサイエンス(株)

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかるとの部分のみ）】

- ・作物名「あずき」の使用時期を「収穫 21 日前まで」から「収穫 30 日前まで」に、本剤の使用回数及びプロチオホスを含む農薬の総使用回数を「3 回以内」から「2 回以内」に変更する。
- ・作物名「てんさい」の本剤の使用回数及びプロチオホスを含む農薬の総使用回数を「5 回以内」から「2 回以内」に変更する。
- ・作物名「しょうが」を削除する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかるとの部分のみ）】

〔変更前〕

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用 液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	プロチオホスを含む 農薬の総使用回数
あずき	アズキノメイカ ツメクサガ ハダニ類	1000 倍	100～300 L/10a	収穫 21 日前まで	3 回以内	散布	3 回以内
てんさい	ヨトウムシ カメノコハムシ アブラムシ類	1000～1500 倍		収穫 30 日前まで	5 回以内		5 回以内
	テンサイイタダリハナバエ テンサイトビハムシ ハダニ類	1000 倍					
しょうが	アワノメイカ				3 回以内		3 回以内

〔変更後〕

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用 液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	プロチオホスを含む 農薬の総使用回数
あずき	アズキノメイカ ツメクサガ ハダニ類	1000 倍	100～300 L/10a	収穫 30 日前まで	2 回以内	散布	2 回以内
てんさい	ヨトウムシ カメノコハムシ アブラムシ類	1000～1500 倍					
	テンサイイタダリハナバエ テンサイトビハムシ ハダニ類	1000 倍					

【変更理由】

登録維持に必要な資料整備に経費と時間を要するため。

平成 28 年 3 月 4 日

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成 28 年 4 月 6 日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第15665号	トクチオン水和剤	プロチオホス水和剤	アリスタライフサイエンス(株)

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

- ・作物名「大粒種ぶどう」の使用時期を「収穫30日前まで」から「収穫45日前まで」に変更する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

[変更前]

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	プロチホスを含む農薬の総使用回数
大粒種ぶどう	コカイガラムシ類 キンケチブトゾウムシ成虫	800 倍	収穫 30 日前まで	3 回以内	散布	3 回以内

[変更後]

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	プロチホスを含む農薬の総使用回数
大粒種ぶどう	コカイガラムシ類 キンケチブトゾウムシ成虫	800 倍	収穫 45 日前まで	3 回以内	散布	3 回以内

【変更理由】

本剤の有効成分プロチオホスについて、新たに導入された短期暴露評価に対応して製造者が自ら短期的な摂取量を試算した結果、登録の維持には試験成績の整備が必要であることが判明し、それには経費と時間を要することから、登録変更をすることとしたため。

平成 28 年 3 月 18 日

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成 28 年 4 月 20 日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第18708号	ロブラール500アクア	イプロジオン水和剤	エフエムシー・ケミカルズ株式会社

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

- ・作物名「ぶどう」を削除する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

[変更前]

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イプロジオンを含む農薬の総使用回数
ぶどう	灰色かび病	1000～1500 倍	収穫 14 日前まで	3 回以内	散布	3 回以内

[変更後]

削除

【変更理由】

新たに導入された短期暴露評価に対応して製造者が自ら短期的な摂取量を試算した結果、登録の維持には試験成績の整備が必要であることが判明し、それには経費と時間を要することから、登録変更をすることとしたため。

平成 28 年 3 月 18 日

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成 28 年 4 月 20 日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第14212号	ロブラール水和剤	イプロジオン水和剤	エフエムシー・ケミカルズ株式会社

■変更内容及び変更理由

【 変更内容（今回の使用制限変更にかかるとの部分のみ） 】

- ・作物名「ぶどう」の適用病害虫名「黒とう病」の希釈倍数を「500～1000倍」から「1000倍」へ変更する。

【 適用表（今回の使用制限変更にかかるとの部分のみ） 】

[変更前]

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イプロジオンを含む農薬の総使用回数
ぶどう	黒とう病	500～1000倍	開花期～幼果期 但し、収穫 60 日前まで	3 回以内	散布	3 回以内

[変更後]

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イプロジオンを含む農薬の総使用回数
ぶどう	黒とう病	1000 倍	開花期～幼果期 但し、収穫 60 日前まで	3 回以内	散布	3 回以内

【 変更理由 】

新たに導入された短期暴露評価に対応して製造者が自ら短期的な摂取量を試算した結果、登録の維持には試験成績の整備が必要であることが判明し、それには経費と時間を要することから、登録変更をすることとしたため。

平成 28 年 3 月 28 日

農薬登録情報（使用制限のかかるもの）

以下の農薬は、平成 28 年 4 月 27 日に使用制限となる登録の変更が予定されておりますので、関係機関等へ周知をお願いいたします。

登録番号	農薬名（商品名）	農薬の種類名	製造者名
第17911号	コニファー水和剤	ジラム水和剤	保土谷アグロテック株式会社

■変更内容及び変更理由

【変更内容（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

- ・作物名「西洋なし」、「りんご」を削除する。

【適用表（今回の使用制限変更にかかると部分のみ）】

[変更前]

作物名	使用目的	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジラムを含む農薬の総使用回数
西洋なし	ノウサギによる食害防止 野ソによる食害防止	3倍	1本当たり 50~500 ml	秋冬期	1回	散布	5回以内 (3倍希釈散布は1回以内)
りんご							

[変更後]

削除

【変更理由】

新たに導入された短期暴露評価に対応してジラム原体製造者が自ら短期的な摂取量を試算した結果、登録の維持には試験成績の整備が必要であることが判明し、それには経費と時間を要することから、ジラム原体製造者が、食用作物に適用がある製剤向けのジラム原体の供給を停止することとしたため。